令和2年度 学校経営構想 七宗町立上麻生小学校

付けたい力

- ◇自分で考え、判断し、 行動する主体性
- ◇仲間の考えに耳を傾 け、自分の考えを深 めるための対話力
- ◇願いや目標をもち、自 分の良さを自覚しなが ら粘り強く努力する力
- ◇なかまの良さを認め、 共に高まろうとする協 調性
- ◇七宗町に誇りをもち、 地域の方に感謝の気 持ちをもつ社会性

学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

~心の教育を核とした 「共生力」「自立力」「自己実現力」の育成~

目指す子ども像

やさしく	かしこく	たくましく
(共生力)	(自立力)	(自己実現力)
相手の気持ちを 思いやり、互い に認め合い、共 よりよく生きよ うとする	基礎的・基本的 を着実に向え は、日標ら表現し がし、する とする	目標を意識し、 自分と仲間を 切にしながら り強で、 き で 、 を 味わう

七宗町教育の方針

くめざす教育> 七宗町の教育に 感動を! くめざす子どもの姿> 自ら志をもち、仲間と ともに創りだす子 「目標·努力·発見」

地域の願い

- ・元気で意欲的な子に育て てほしい
- 「上麻生が好き」と思える 子にしてほしい。
- 小規模校の良さを生かす 【学校評議員会の意見より】

		重	点
やさしく	(共生力)	かしこく	(自立力)

仲間の良さを認め、協力しながら 仲間とよりよく生きようとする心

① 相手意識をもち、仲間と協働して 作り上げる活動

- ・上級生を慕い、下級生をいたわる 縦割り活動 (掃除・遊び)
- ・明るく元気な歌声づくり
- みんなが気持ちよく生活するた めの委員会活動

② 規律と思いやりのある学校生活

- ・日常生活を「当たり前」のレベルに
- ・仲間の良さを認められる活動
- ③ 特別支援教育の推進・充実
- ・困り感のある子どもが安心して 学べる校風づくり

主体的に取り組み、願いや目標を 具現するために創造する心

①主体的・対話的で深い学び

- 教師主導から子ども主体の授業
- わからなさを大切にした授業
- ・自分の課題を意識し、学習を組 み立てる家庭学習
- ・教師のSOSからの脱却
- ・安心して間違えられる学級経営

②基礎学力と学習姿勢の定着

- 算数科研究の継承・積み上げ
- ③ 自分・ふるさとの良さを自覚し、夢 に向かって取り組む
- ・将来の夢を描き、それに向かっ て自分の良さを磨こうとする

自分の決めた目標を達成するため

たくましく(自己実現力)

に粘り強く努力し続ける心 ①状況判断し、自分から行動できる

- 子どもが自分で考えて行動する
- ・自分の命は自分で守る姿勢作り
- ・望ましい生活習慣の形成

②遊びを通しての人間関係作り

- ・外遊びを通して体力を向上させ、 良好な人間関係を学ぶ
- ・遊び心をもった活動・行事を仕組 み、積極的な姿勢を育てる。

③具体的な目標を立て達成感を味わ

- ・常に目標を意識した学級経営
- ・失敗を恐れず、挑戦する

KGT (基礎学力定着) ……「当たり前のことを当たり前にできる力・当該学年でつけるべき力」の定着 LSS(Life.Study.Support)・・保育園・神渕小・中学校・地域・家庭と連携し、学びの基礎となる生活・学習習慣を定着 (早寝早起き朝ごはん・すっきりお目覚め・あいさつ・家庭学習(学年×10+10分)・授業ルール・読書) 生徒指導・教育相談・危機管理・組織だった対応(報連相)・心に寄り添う(心の天気図)・「さしすせそ」の意識

見届けの窓(上麻生小学校の自慢活動)

授業(発言)

あいさつ

歌声

縦割り活動(掃除・遊び)

くつそろえ

教職員の構え

チーム上小

~子どもたちに求める姿を自身の姿で示す職員集団~

- 1 心を開く(挨拶、 笑顔、 元気)
- 2 心を配る(一人一人を大切にした動き)
 - =報連相により組織だった動きをする
- 3 心を遣う(思いやり、助け合い)
- 4 「誰のため」「何のため」という物差しで行動
- 5 ほめる・認める。(当り前と思わない=感謝の心)
- 6 何事にもチャレンジ(失敗を恐れない・責めない)

社会に開かれた学校経営

保護者・地域と共に歩む上小

- 1 保護者、地域の願いを受け止める学校経営
 - 話しやすい雰囲気づくり
 - ・保護者・地域住民との積極的なコミュニケーション
 - ・地域の願いを反映(コミュニティースクールを意識して)
- 2 保護者、地域に対する学校情報の積極的な発信
 - ・通信、ホームページの活用 電話・懇談の活用
- 3 ふるさと教育の推進・地域人材の活用
- 4 関係機関との密接な連携